

グローバル規格調査検討専門委員会調査報告書（第一次）
「欧米諸国と我が国における有機資源の農緑地利用に関する規制・基準」

目 次

序	第4章 汚泥の農緑地利用に関する規制・基準
はじめに	4-1 規制・基準の動向
委員会の構成	(1) ヨーロッパにおける動向
調査研究の海外協力者	(2) 米国における動向
機関名等の略称説明	(3) 日本における動向
第1章 総論	4-2 品質に関する国別基準
1-1 各国における堆肥（コンポスト）の定義	(1) 一般的な化学的性質に関する基準
1-2 欧米諸国と我が国の動向	(2) 重金属濃度に関する基準
1-3 欧米諸国と我が国の現状	(3) 有害有機化合物濃度に関する基準
(1) 堆肥等の品質に関する規制・基準	(4) その他の基準
(2) 汚泥	4-3 農緑地施用に関する国別基準
(3) 農緑地土壌に関する規制・基準	(1) 汚泥施用による有害重金属元素の累積負荷量に関する基準
1-4 今後の課題と展望	(2) 汚泥施用量の制限に関する基準
第2章 堆肥等の品質に関する規制・基準	(3) 汚泥の施用が禁止される栽培作物および土壌等に関する基準
2-1 基準制定に関する考え方	第5章 生分解性プラスチックに関する基準
2-2 品質に関する国別基準	5-1 生分解性プラスチックの定義
(1) 一般的な化学的性質に関する基準	5-2 生分解性プラスチックに関する国際動向
(2) 重金属濃度に関する基準	(1) ドイツ：包装政令
(3) 有害有機化合物濃度に関する基準	(2) ドイツ：有機廃棄物政令
(4) 物理性に関する基準	(3) EU：埋立政令
(5) 生物性に関する基準	(4) WHO：有機農産物に関する国際規格
(6) 腐熟度に関する基準	5-3 認定基準の国間比較
(7) 生育試験に関する基準	(1) 概要
(8) 品質評価のための試験・分析頻度と試料採取法に関する基準	(2) 米国における識別表示制度
(9) 危険性表示基準	(3) ドイツにおける識別表示制度
第3章 堆肥を施用する農緑地土壌に関する規制・基準	(4) 統合化に向けた課題と考え方
3-1 基準制定に関する考え方	引用文献
3-2 施用に関する国別基準	参考資料
(1) 土壌中に許容される重金属濃度に関する基準	1. 各国における堆肥の品質に関する基準
(2) 堆肥由来重金属元素の施用量に関する基準	2. 農業、林業、園芸等用土壌への生物系廃棄物の利用に関する政令（概要）
(3) 土壌中に許容される有害有機化合物濃度に関する基準	3. 我が国における廃棄物の現況
(4) 塩類含有率による堆肥施用量に関する基準	

木材資源循環利用調査検討専門委員会調査報告書（第一次）
「木質系MRSの現状と課題」

目 次

序	第2章 木質系未利用資源循環利用推進の課題
はじめに	第1節 未利用木質系未利用資源リサイクル事業の現状
委員会の構成	(1) 総括
調査研究体制	(2) 建設工事について
調査研究に協力して頂いた機関、団体、組織等	第2節 未利用木質系未利用資源リサイクル業界の持続的発展
第1章 木質系未利用資源循環利用の現状	(1) 循環型社会形成の担い手としての認識
第1節 わが国の木質系未利用資源循環利用の概況	(2) 不適正行為の排除
(1) 木質系未利用資源循環利用の概況	(3) 適切な市場の形成
(2) 資源循環利用関係法令と用語	第3節 木質系未利用資源の所有権および利用権
第2節 建設発生木材	(1) 業務委託契約の明確化
(1) 建設発生木材の現状	(2) 廃棄物処理法が適用されない木質系未利用資源の所有権および利用権
(2) 排出量について	(3) 廃棄物処理法が適用される木質系未利用資源の所有権および利用権
(3) 建設発生木材排出量の見通し	第4節 排出事業者による有用物としての利用
(4) 建設発生木材の資源化	(1) 「自ら利用」に始まる
(5) まとめ	(2) 再生利用指定制度、再生利用認定制度の利用
第3節 建築解体材	第5節 木質系MRSの構築に向けて
(1) 建築解体材の発生量	第3章 木質系バイオマスのエネルギー利用
(2) 建築解体材のリサイクルについて	第1節 バイオマスについて
(3) 木くずの焼却について	(1) はじめに
(4) 現状のリサイクル阻害要因	(2) バイオマスとは
(5) 建築解体材のリサイクル拡大に向けて	(3) バイオマスのエネルギー変換
第4節 剪定材	第2節 木質系バイオマス発電について
(1) 剪定材の現状把握（アンケート調査の集計報告）	(1) 木質系バイオマス発電プラントの概要
(2) 剪定材のリサイクル事例	(2) 木質系バイオマス発電事業の例
(3) 剪定材のリサイクル阻害要因	(3) 木質系バイオマス発電導入の課題および問題点
(4) まとめ	(4) 木質系バイオマス燃焼ボイラの廃棄物処理法上の取り扱い
第5節 間伐材	(5) まとめ
(1) 間伐の実施状況	第3節 木質からのバイオエタノールの生産について
(2) 間伐材の有効利用の状況	(1) バイオエタノールの原料
(3) リサイクル阻害要因	(2) バイオエタノール技術の経緯
(4) 関係省庁の木材利用の取り組み	(3) バイオエタノールのメリット
(5) まとめ	(4) バイオエタノールの課題
第6節 流木材	(5) 日本におけるバイオエタノールの事業性
(1) 流木および流木を含む塵芥発生量	(6) バイオエタノールを展開するための各省の支援策
(2) 流木・塵芥処理と有効利用の現況	(7) まとめ
(3) リサイクル阻害要因	参考論文1：木くずの人工土壌マトリックスとしての利用
(4) まとめ	参考論文2：木質資源リサイクルの二酸化炭素収支評価とその意義
第7節 バーク	参考資料1：1-1 建設発生木材の法面保護材としての適用例
(1) バークとその用途	1-2 建設発生木材の現場堆肥化の適用例
(2) バーク堆肥	1-3 建設発生木材の炭化処理技術の適用例
(3) 施設事例	1-4 剪定枝リサイクル実践事例
(4) 今後の課題	参考資料2：リサイクル資材概要表1～7
(5) まとめ	参考資料3：剪定枝等のリサイクルに関するアンケート用紙
	参考資料4：C C A処理木材について
	参考資料5：木質系バイオマスの循環利用手法
	参考資料6：わが国における廃棄物の現況